

疾病予防と治療月間 リソースのご案内 (Disease Prevention and Treatment Month)

*タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先ご参照下さい。

< RI ページ >

▶ 疫病との闘い

誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人とされています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。

▶ 奉仕プロジェクトセンター

奉仕プロジェクトセンター(旧ロータリーショーケース)では、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。奉仕プロジェクトセンターを初めてご利用の際には、[奉仕プロジェクトセンターへようこそ](#)をご覧ください。

▶ ロータリー行動グループ

ロータリー行動グループは、経済開発、平和、薬物乱用防止、環境、水など、世界各地の特定分野のエキスパートから成る独立したロータリー関連グループです。各行動グループは、専門的な知識や経験を生かしてクラブがプロジェクトを計画・実施するのをサポートすることで、ロータリーの戦略的優先事項の一つである「より大きなインパクトをもたらす」を実行します。

▶ パートナー

より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。

< ラーニングセンター >

本月間に関連する様々なコースがございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

< 各種資料 > 印刷物の販売、取り扱いが終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

▶ ロータリーの重点分野

各重点分野のプロジェクト計画に関するヒントをご紹介します。

💡 グローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

» [重点分野の基本方針](#)

» [持続可能なプロジェクトの立案 6つのステップ](#)(PDF)

< ウェブ掲載記事 >

➤ [ポリオを発症した子どもの85%が住むところ](#)

UNICEF(国連児童基金)は、脆弱で紛争の影響を受けている地域でのポリオ感染例が過去5年間で2倍以上に増加していると警告しました。

(2024年11月、ロータリーボイス)

➤ [可能性ではなく時間の問題:ポリオ根絶に向けた進展が続く](#)

ワクチンが開発された都市で行われた世界ポリオデーのイベントで、「世界からのポリオ根絶は依然として達成可能な目標である」とステファニー・アーチック RI 会長と公衆衛生の専門家が述べました。

(2024年10月、ニュース・特集記事ページ)

➤ [ロータリアンが故郷エチオピアの予防接種を支援](#)

1997年、シアトル在住のエズラ・テシヨメさんは、ロータリー平和会議に出席するため、自分が生まれ育ったエチオピアを訪れました。現地のロータリアンたちは、全国予防接種活動を実施していました。テシヨメさんは、ある村で、ポリオに感染した8歳の少女とその父親に出会いました。父親は、訪問者が娘を治しに来たのだと思い、テシヨメさんに助けを求めました。

(2024年9月、ニュース・特集記事ページ)

➤ [命を救う臓器移植:ドナーとなること](#)

ア Nil・スリヴァツァさんが運転する SUV にずらっと貼られたステッカー。そこに書かれたスローガンには、臓器ドナーとなることの重要性を14億人のインド国民に伝えたいという思いが込められています。

(2024年8月、ニュース・特集記事ページ)

➤ [世界各地で「孤独」と闘う](#)

メンタルヘルスの促進を通じて人びとをサポートしている各地のロータリークラブの活動をご紹介します。

(2024年8月、ニュース・特集記事ページ)

➤ [南太平洋の島々の子どもたちをワクチンで守る](#)

南太平洋の国々は熱帯気候で暖かく、経済的に多様で、互いの距離が大きく離れています。数百万平方マイルに広がるこの地域では、複数の離島から成る国もあり、子どもへの予防接種において独特な課題をもたらしています。

(2024年4月、ニュース・特集記事ページ)

➤ [クラブと地区リソースネットワークの協力を通じた医療改革プロジェクト](#)

ロータリープロジェクトの成功に必要なのは、善意だけではありません。それは、コミュニティの真のニーズを的確に突き止め、そこに焦点を絞ること、そして、持続的なインパクトをもたらす強固なパートナーシップを築くことです。

(2024年4月、ロータリーボイス)

➤ [新しいアプローチでメンタルヘルスケアへのアクセスを広げる](#)

極度の近視であるリチャード・オキディさんは、視力の低下が進んで黒板の字が見えなくなったとき、学校に通うのをやめました。勉強を続ける友人たちから取り残されたと感じたオキディさんは、希望を失いかけていました。

(2024年2月、ニュース・特集記事ページ)

▶ [アルツハイマーと共に生きる](#)

夕方のランニングに出かけた私は、一人ではありませんでした。これは最近よくあることです。私の頭の中に潜む魔物が、襲いかかってこようとしていました。アルツハイマーが一層ひどくなる日没を避けるために、ほぼパニック状態で全速力で走りました。

(2023年10月、ニュース・特集記事ページ)

▶ [エジプトでの子宮頸がん撲滅のためにロータリーが 200 万ドルの補助金を授与](#)

ロータリーの「大規模プログラム補助金」の第3回受領者として、「United to End Cervical Cancer in Egypt(エジプトにおける子宮頸がん撲滅のための結束)」プログラムが選ばれました。この取り組みは、子宮頸がんの症例数を減らすとともに、予防医療への認識とアクセスを向上させることを目指しています。ジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長は、メルボルン(オーストラリア)でのロータリー国際大会において、この補助金の受領者を発表しました。

(2023年5月、ニュース・特集記事ページ)

▶ [モンゴルで人びとの命を救う「佐賀方式」](#)

肝がんは、肝臓にできるがんで、放っておくと命にかかわる病気ですが、早期発見と早期治療により予防が可能です。私の住む佐賀県は、特に60歳以上の方でC型・B型肝炎ウイルスの感染によるウイルス性肝炎の罹患率が全国でも非常に高く、そのため肝がんによる死亡率で全国ワースト1位が長年続いていました。

(2022年11月、ロータリーボイス)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#) ■ ロータリーボイスページ(日本語)は» [こちら](#)

< [映像資料](#) >

▶ [なぜポリオ根絶活動を続ける必要があるのか](#)

ポリオの症例数は世界中で99.9%以上減少しましたが、闘いはまだ終わっていません。このビデオでは、ポリオに対する警戒を怠らないことがなぜ重要なのかを探ります。[日本語字幕 4分12秒]

▶ [ザンビアでのマラリアとの闘い](#)

ロータリーの大規模プログラム補助金は、世界の緊要な課題に取り組むプロジェクトを支援しています。これは、最初の補助金受領プログラムについての動画で、ザンビアの会員が他団体と協力してどのようにマラリアの根絶に取り組んでいるかをご覧ください。[日本語字幕 5分02秒]

▶ [ワクチンへのためらいを抱く人にどう接するべきか](#)

ワクチンをためらっている人がいたら、何を伝えればよいでしょうか。このビデオは、最適かつ最も効果的なアプローチを理解するのに役立ちます。[日本語 1分29秒]

▶ [ワクチンの「コールドチェーン」とは](#)

ワクチンの冷却輸送プロセスと、世界中でポリオワクチンの輸送を支援するロータリー会員の役割を説明した短い動画。[日本語字幕 1分02秒]

■ ブランドリソースセンターの動画一覧は» [こちら](#) ■ YouTube は» [こちら](#)

■ 利用規約は» [こちら](#)

国際ロータリー日本事務局 業務推進室

108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル 24F

Tel: 03-5439-5802 / Fax: 03-5439-0405 / Email: rjpnpi@rotary.org